

質問書に対する回答

(件名) 東京湾アクアライン連絡道 金田高架橋耐震補強工事

No.	質問箇所	質問事項	回答
1	特記仕様書 23-15 橋座補強工	区分内容に「鉄筋の加工、運搬、据付け」と記載がありますが、ここで記載されている運搬は場内の小運搬と解釈してよろしいでしょうか。	そのとおりお考えください。
2	特記仕様書 23-11-2-1 断面補修工	WJ工法によるはつり除去の積算基準の出典元をご教授ください。	6月6日の質問書で回答のとおり、見積を想定しております。
3	特記仕様書 23-7-5 震補強用鋼板の架設	使用する大型土のうの袋数をご教示ください。また、土のうに用いる土は現地発生土と考えてよろしいでしょうか。	数量は設計図653/667のとおり、62袋を想定しております。土のうに用いる土は特記仕様書 6-1 に記載する土取場の土とお考えください。
4	特記仕様書 23-7-5 耐震補強用鋼板の架設	「この契約単価には、設計図書及び監督員の指示に従って行う耐震補強用鋼板の現場保管、架設位置までの小運搬」と記載があります。この保管費用と小運搬の費用は計上されていると解釈してよろしいでしょうか。	単価項目に含まれているものとお考えください。
5	設計図 622 小櫃川第一橋(下り線)P5 橋脚 施工手順図	5m以深はクラムシェルによる掘削となりますが、別途、立坑内に小型バックホウを投入して土砂の集積作業も想定されているのでしょうか。	5月25日の質問書で回答のとおり、バックホウ及びクラムシェルによる施工を想定しております。